

まちづくり委員会

- 担当副理事長名：米澤 寿人
- 委員長名：岩本 和憲
- 副委員長名：中村 太一
- 委員名：河江 徳子、宮沢 輝、三宅 孝昌、村山 大輔
- 作成者名：岩本 和憲

1. 委員会活動方針

鎌倉のまちにはそれぞれの歴史、時代の移り変わりとともに発生した問題を、その都度先人達の尽力によって一つずつ解決してきたことで現在の姿があります。しかしながら、時代が移り替わるにつれて、問題の性質も複雑に変化をしていきます。問題を解決する為にまずは、鎌倉のまちの問題の中から、我々に何が出来るのかを明確にすることが重要です。そして、先人の知見を学び、明確にした問題の解決手法を我々会員と市民が繋がる機会を通じて広く発信していく必要があり、さらには、その問題の解決手法を市民と共に実践する機会が大切だと考えます。

本年のまちづくり委員会では、まちが抱える問題を共通認識として幅広い世代にわかりやすく示し、問題解決に取り組みやすくするために、持続可能な開発目標として掲げられているSDGsを用いて、鎌倉青年会議所と関係諸団体が未来のより良いまちに向けて取り組めることは何かという問題の意識統一を図ります。そして、まちの人々が未来へ明るい展望を抱く為に本年も慈善茶会を行うことで、先輩諸氏から連綿と受け継がれる思いを学び、直接顔と顔を合わせる交流の場を作ります。同時に、本事業ではご来場の皆様へ、ひとがまちにできるおもいやりを表現します。あわせて、慈善茶会にご協力いただきます茶道関係者の皆様、協働団体の皆様と、ご協力の感謝をお伝えする機会を作ります。最後に学びによって深めたこのまちの問題に対して解決となりうる手法を市民に広く伝播する為に、問題解決のきっかけとなる事業を行います。

当委員会では、一年間を通じこれらの事業を実施することで、鎌倉のまちの問題に対してSDGsという指標を用いることによってまちの問題をわかりやすく提示できるように会員の意識が高まります。また、会員のみならず市民にもまちにある問題の性質、解決方法の発信と実践する機会を提供する事で、市民一人ひとりが鎌倉の希望溢れるまちの未来を描く機会を創出します。それは鎌倉のまちが「明るい豊かな社会の実現」へと繋がる一助となると確信します。

2. 委員会事業計画

(Ⅰ) まちの問題と向き合う事業の実施

- (a) 内 容：関係諸団体とSDGsを通じてまちの問題を明確にする事業の実施
- (b) 時 期：2020年 2月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度及び入会希望者、関係諸団体
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(Ⅱ) ひととまちをおもいやる事業の実施

- (a) 内 容：第52回慈善茶会の実施
- (b) 時 期：2020年 5月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度及び入会希望者、先輩諸氏、来訪JC、市民、学生、協働団体関係者、茶道関係者
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(Ⅲ) 慈善茶会をご協力頂いた皆様へ感謝をお伝えする事業の実施

- (a) 内 容：第52回慈善茶会後の懇親会開催
- (b) 時 期：2020年 5月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度及び入会希望者、先輩諸氏、学生、協働団体関係者、茶道関係者
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(Ⅳ) 市民と共にまちの問題解決の手法を実践する事業の実施

- (a) 内 容：まちの問題解決の手法を実践する事業の開催
- (b) 時 期：2020年 9月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度及び入会希望者、関係諸団体、市民
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

3. 共通実施事項

- (a) 会員拡大
- (b) 渉外事業への参画、参加